

軍拡に突き進む高市政権

「消費税 憲法変えれば戦争税」にさせない

高市政権が危険な動きを見せています。軍事費のGDP比2%達成を今年度中に達成させ、補正予算にその財源を盛り込み、27年度から所得税などを増税する方向です。台湾有事をめぐる「戦艦を使って、武力の行使も伴うものであれば存立危機事態になり得る」と発言し、中国との関係を悪化させ、国際問題に発展。さらに核兵器を「持たず、つぐらず、持ち込ませず」の非核三原則の見直しを検討。高氏は「持ち込ませず」が米国の核抑止力を低下させかねないとして3原則見直しを持論です。軍拡路線にまっしぐらです。消費税 憲法変えれば戦争税」に絶対させてはなりません。



「消費税の歌」で読者5人拡大 新潟の会



「全国の会」の総会でギターを弾きながら「消費税の歌」を披露した新潟の会の酒井光男さん。その後、「しんぶん赤旗」の「潮流」欄で歌と活動が紹介されました。その反響がすご

い。「新聞に載ってたね」「読んだよ」。なんと80人を超える人たちから連絡がありました。その反響に驚いた酒井さんは「会報読者を増やさなければ」と奮起。身近な仲間や知り合いに購読を訴え、5人の読者を増やしました。

酒井さんは息子と二人で鉄スクラップ工場を経営し、長岡民商の会長を務めています。「毎年、20万～30万円を払っている。負担は重いよ。だから消費税は廃止、ただちに5%減税」と声を大にします。「民商の仲間はインボイス制度に痛めつけられている。来年9月に2割特例、8割控除が適用されなくなれば、さらに大変になる。インボイス制度も廃止」と怒りを込める酒井さん。今月も26日に各界連の仲間と一緒に街頭宣伝を行います。

「♪一刻も早く5%にして庶民にお金が出るように、心配しないで暮らせるようにみんなで力を合わせよう♪」。酒井さんの歌声が街に響きます。

読者200人⇒400人に挑戦 福岡の会

読者5千人をめざす会報読者拡大で200人の目標を見事に達成させた福岡の会。県の会の総会を11月19日に開き、来年の全国の会の総会まで読者

400人にすることを確認しました。「400人の読者にするためには地域の会の結成が不可欠。福岡市中心の活動を広げることも必要」と田崎事務局長。「しんぶん赤旗」で総会開催のチラシを見たお寺の住職さんから「当日は参加できないが、『ノー消費税』を購読したい」とショートメールが届き、田崎事務局長はその後も読者1人を拡大しました。

今こそ消費税減税の大運動を

青森の会

青森の会は11月15日、講演会と総会を開き、35人が参加しました。全国の会の常任世話人で元衆院議員の梅村さえこさんが講演。会場からは「消費税は社会保障の財源というが、社会保障は改悪され続けている。軍事費に使われているのではないか」「消費税の負担が医療機関の経営を圧迫している」などの意見が出されました。梅村さんは「今こそ消費税減税、インボイス廃止の大運動をおこそう」と呼びかけました。

各界連署名提出行動に参加



各界連は12月3日、議員会館内で集会を開き、32万6578人分の署名を提出し、なくす会も参加しました。